

令和7年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：比較政治

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 比較政治学
2. アメリカ政治

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 比較政治 出題分野名 比較政治学

問題1 ヨーロッパにおける近代国家の成立過程について説明したうえで、近代より前の時代の政治体やヨーロッパ以外の地域の国々と比較して、その特徴はどのような点に見いだされ则认为られるか、できるだけ多角的に論じなさい。

問題2 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

- (1) ヨーロッパ諸国における政党システムの形成に、宗教と産業化（工業化）はどのような影響を及ぼしたと认为られるか、具体的事例を挙げながら論じなさい。
- (2) 欧州連合（EU）の統治構造は、既存の連邦制国家と比較して、どのような共通点や相違点があると认为られるか、「連邦制」の意味を明らかにしたうえで、できるだけ多角的に論じなさい。

科目名 比 較 政 治 出題分野名 ア メ リ カ 政 治

問題 1 1974 年議会予算・執行留保統制法は、アメリカにおける大統領と議会の関係に
いかなる影響を及ぼしたと考えられるか、同法が制定された背景にも言及しながら、
できるだけ多面的に論じなさい。

問題 2 以下の問いから 1 問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を
必ず明記すること。

(1) 今日のアメリカ政治における「分極化」について、それが具体的に何を意味し
ているのかを明確に定義した上で、分極化が生じる理由と政策過程に対する影響に
ついて、できるだけ多面的に論じなさい。

(2) アメリカの政党間関係の変化を説明する理論として、政党再編成論がある。そ
の具体的な内容を明らかにした上で、近年のアメリカの政党間関係を説明する上で
どの程度有用だと考えられるか、またそれはなぜか、できるだけ多面的に論じなさい。